

平成29年度 全国学力・学習状況調査結果

○篠原西小学校 学習状況調査結果

	よい状況と考えられる内容	指導・改善が必要と考えられる内容
国語A	【書く能力】 ・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。 ・手紙の構成を理解し、後付けを書く。	【言語についての知識・理解・技能】 ・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。
国語B	【書く能力】 ・目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える。 【書く能力】【読む能力】 ・物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる。	【書く能力】 ・目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く。
算数A	【数量や図形についての技能】 ・商を分数で表すことができる。 【数量や図形についての知識・理解】 ・高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解している。 ・正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解している。	【数量や図形についての技能】 ・二つの数の最小公倍数を求めることができる。
算数B	【数学的な考え方】 ・料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる。 ・示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断できる。	【数学的な考え方】 ・直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することができる。

※国語A・算数A…主として知識についてのテスト

国語B・算数B…主として活用についてのテスト

〈調査結果（課題）を踏まえての今後の取組〉

- 2教科それぞれの項目を「全国（公立）」「神奈川県（公立）」の平均正答率と比較した結果、ほぼ同率であった。記述式の問題に対して無回答の割合が高く、不得意な児童が多いことが分かった。自分の意見を持ち、それを表現することができるように、普段の授業の中で、じっくり考える時間を確保していく。
- 国語では、学年別漢字配当表に示されている漢字の読み・書きの設問で、指導・改善が必要とされるものが多かった。学校、家庭双方での漢字学習を引き続き行っていく。また、資料を読み、目的や意図に応じて、必要な内容を整理して書く設問の正答率が低かった。日常的に自分の考えを書く活動や、資料を活用する活動に力をいれていく。
- 算数では、公倍数や公約数についてなど、既習の学習事項を再度見直し、復習をして理解の定着を図る。